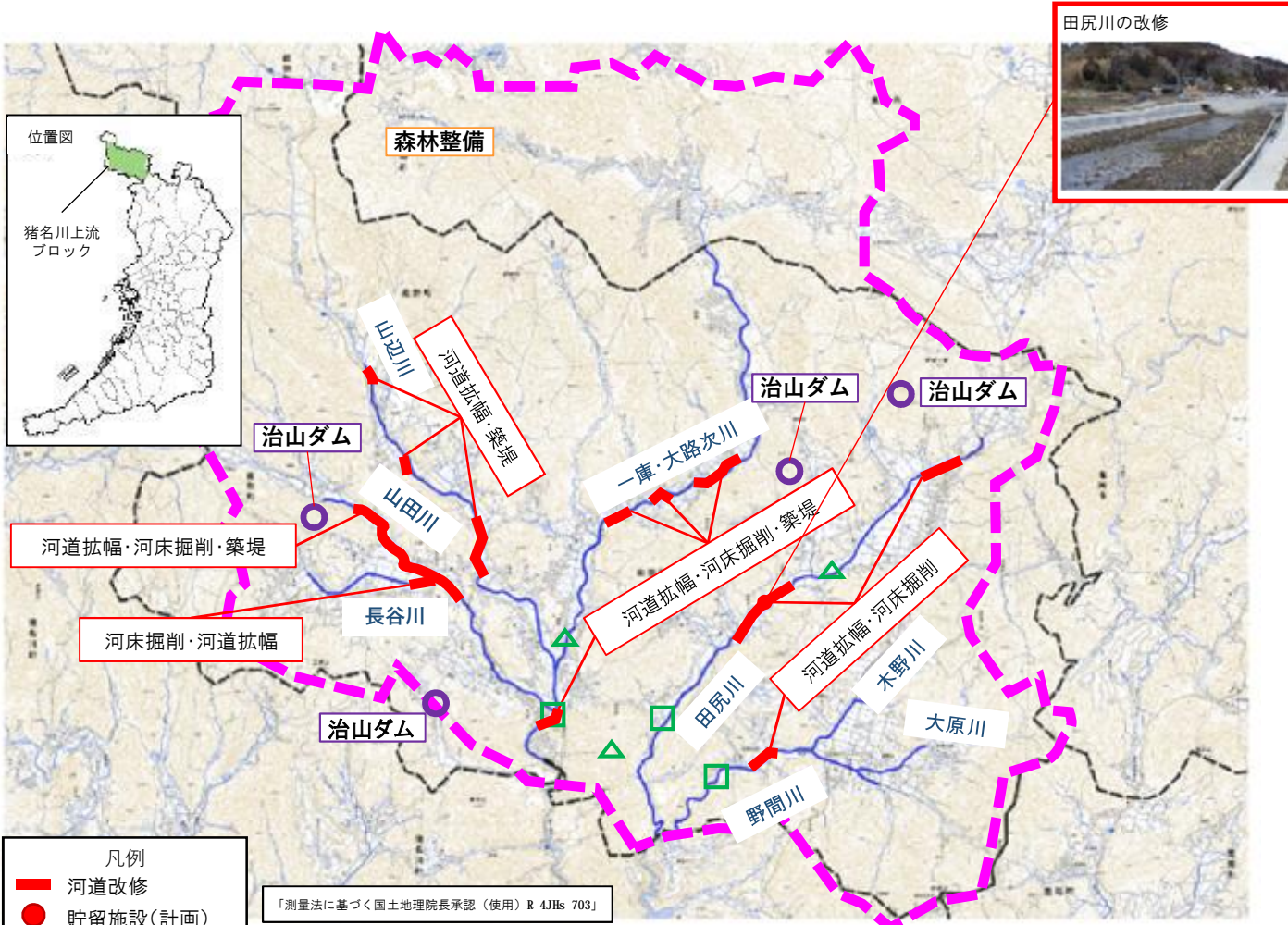


○猪名川上流ブロックでは、当面の治水目標に従い、河道拡幅、河床掘削等による洪水対策を実施します。一庫・大路次川、山田川、山辺川、田尻川、野間川では時間雨量65ミリ程度の降雨、長谷川では時間雨量50ミリ程度の降雨による洪水を対象に整備を行います。



●被害対象を減少させるための対策
・土砂災害特別警戒区域内の既存住宅に対する補助制度

- 被害の軽減、早期復旧・復興のための対策
- ①情報伝達、避難計画等に関する事項
 - ・洪水浸水想定区域の指定拡大【府】
 - ・想定最大規模の雨水出水に係る浸水想定区域図等の作成と周知【府・市町】
 - ・基礎調査の実施と公表と土砂災害警戒区域、土砂災害特別警戒区域の指定【府】
 - ・ホットラインの運用（洪水・土砂）【府、町、気象台】
 - ・避難情報発令の対象区域、判断基準等の確認（広域タイムライン）（洪水）【府・町・民間】
 - ・避難情報発令の対象区域、判断基準等の確認（市域・町域タイムライン）（洪水・土砂）【町】
 - ・避難情報発令の対象区域、判断基準等の確認（コミュニティタイムライン）（洪水・土砂）【町】
 - ・ICTを活用した洪水情報の提供【府・気象台】
 - ・防災施設の機能に関する情報提供の充実【府】
 - ・隣接市町村における避難場所の設定（広域避難体制の構築）等【町】
 - ・要配慮者利用施設における避難確保計画の作成及び避難訓練の実施（洪水・土砂災害）【町】
 - ・応急的な退避場所の確保【町】
 - ・重要水防箇所の見直し及び水防資器材の確認【府、町】
 - ・市町庁舎や災害拠点病院等の施設関係者への情報伝達の充実【町】
 - ・排水施設、排水資器材の運用方法の改善【町】
 - ・浸水被害軽減地区の指定【町】
 - ・重要インフラの機能確保【町】
 - ・樋門・樋管等の施設の確実な運用体制の確保【町】
 - ・施設管理の高度化の検討【府】
 - ②平時からの住民等への周知・教育・訓練に関する事項等
 - ・水害ハザードマップの改良、周知、活用（洪水・土砂）【国、府、町】
 - ・浸水実績等の周知【府、町】
 - ・水害の記録の整理【府、町】
 - ・災害リスクの現地表示【町】
 - ・防災教育の推進【府、町】
 - ・共助の仕組みの強化、地域防災力の向上のための人材育成【府・町】
 - ・住民一人一人の避難計画・情報マップの作成促進【府、町】
 - ・水防訓練の充実【府・町】

●氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策
・河道拡幅、河道掘削【府】
・ため池及び農業用施設等の治水活用【府・町・民間】
・砂防施設の保全【府】
・河道内堆積土砂の撤去
・治山施設・森林の整備及び保全

大阪府域の流域関連自治体（2町）
能勢町、豊能町（流域境界のみ）

※具体的な対策内容については、今後の調査・検討等により変更となる場合がある。

淀川水系猪名川上流ブロック 流域治水管理図【ロードマップ】

～豊かな自然環境に配慮した流域治水の推進～

猪名川上流ブロックでは、上下流・本支川の流域全体を俯瞰し、府・町が一体となって、「流域治水」を推進する。

【短期】 住宅密集地での重大災害の発生を未然に防ぐため、河道改修に着手。

【中期】 河道改修の推進。

【中長期】 時間雨量50ミリ程度の降雨に対し家屋浸水を防ぎ、かつ時間雨量65ミリ程度の降雨に対し家屋床上浸水を発生させない対策を完了。

区分	対策内容	実施主体	工程		
			短期	中期	中長期
氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策	山辺川の河道拡幅・築堤	大阪府			
	山田川の河道拡幅・河床掘削・築堤	大阪府			
	長谷川の河床掘削・河道拡幅	大阪府			
	一庫・大路次川の河道拡幅・河床掘削・築堤	大阪府			
	田尻川の河道拡幅・河床掘削	大阪府			
	野間川の河道拡幅・河床掘削	大阪府			
	ため池の治水活用	大阪府・能勢町・民間			
	砂防施設の保全	大阪府			
	河道内の堆積土砂撤去	大阪府			
	治山施設・森林の整備及び保全	大阪府			
被害対象を減少させるための対策	土砂災害特別警戒区域内の既存住宅に対する補助制度	大阪府・能勢町			
被害の軽減、早期復旧・復興のための対策	①情報伝達、避難計画等に関する事項 ・洪水浸水想定区域の指定拡大 ・雨水出水浸水想定区域の指定 ・市町村、地域タイムラインの策定 ・要配慮者利用施設の避難確保計画作成 ・防災気象情報の改善 等	大阪府・能勢町・気象台			
	②平時からの住民等への周知・教育・訓練に関する事項 ・ハザードマップの改良・周知・活用 ・マイタイムラインの策定 等	大阪府・能勢町			

定期点検による継続監視及び状況により適宜実施

洪水浸水想定区域指定
拡大完了(R6年度)

雨水出水浸水想定区域図
作成・公表(R7年度)

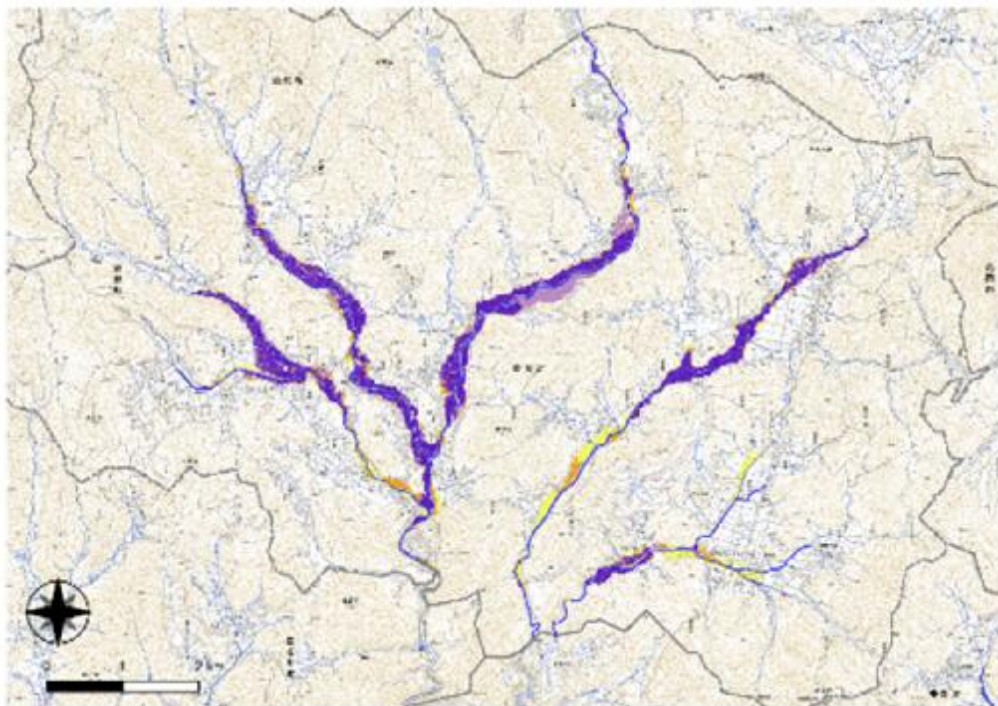
淀川水系猪名川上流ブロック 流域治水管理図【事業効果の見える化】

～豊かな自然環境に配慮した流域治水の推進～

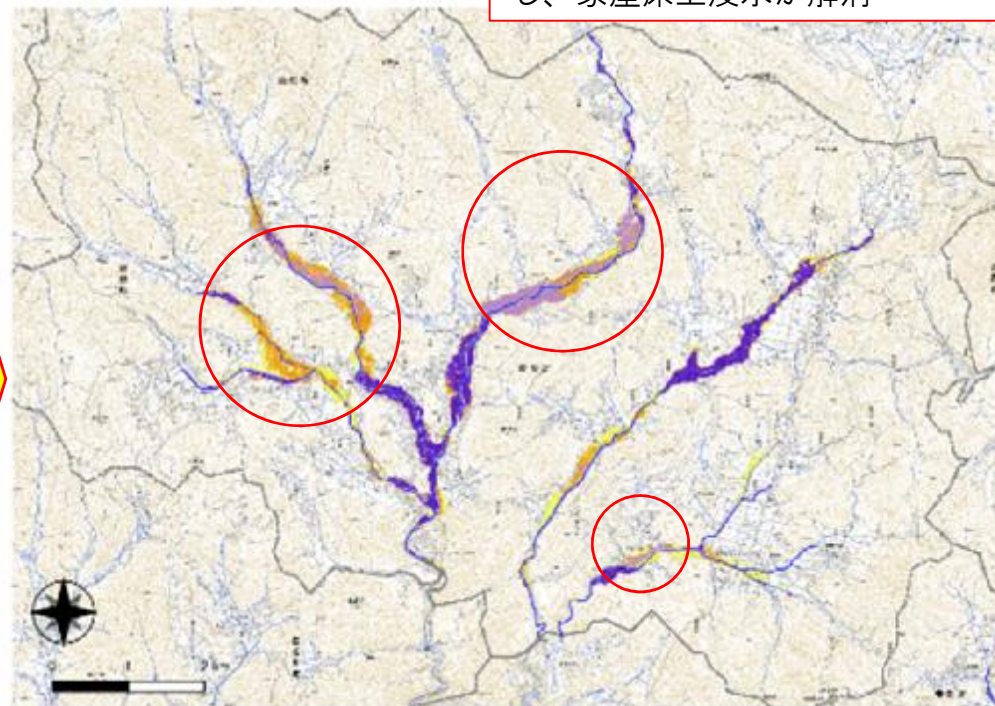
河川整備等による効果

河川改修を推進することにより、
田尻川、一庫・大路次川、山田川、長谷川、山辺川、野間川
：時間雨量65ミリ程度（1/30）の降雨に対し、家屋床上浸水が解消





現状



整備後



時間雨量65ミリ程度の降雨に対し、家屋床上浸水が解消

高頻度 (1/10) 
中頻度 (1/30) 
低頻度 (1/100) 
想定最大規模 

※この図は、1/10、1/30、1/100の確率年及び想定最大規模の降雨により想定される、府管理河川の外水氾濫の浸水範囲である。

※「現状」の図は、氾濫シミュレーション時点（R2）の施設整備状況において想定される浸水範囲を示したものである。

※「整備後」の図は、河川整備計画の整備メニュー実施後において想定される浸水範囲を示したものである。なお想定最大規模については、施設整備の効果を考えていない。

